

みず・まち・自然 エンジョイ！米子

multilingual translation >

You can get information about  
Yonago on your smartphone.



音声読み上げ・多言語翻訳は「カタログポケット」で

広  
報

# よなご

1

2025  
January  
No.238



特 集

# もっと歩いて 楽しいまちへ！

## 米子市長 伊木隆司

明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、令和7年の輝かしい新春を健やかに迎えのことに、心よりお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、夏に開催された「パリ2024オリンピック・パラリンピック」に米子から三上選手、森選手、高橋選手の3名の選手が出場され、世界の舞台に挑む

## 米子市議会議長 岡田啓介

明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃より議会運営並びに活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年は、日本全体がコロナ禍からようやく日常生活を取り戻しつつある中で、元日の能登半島地震をはじめ

姿に米子が沸き、勇気と感動をいただきました。秋に鳥取県内で開催された「ねんりんピックはばたけ鳥取2024」では、米子市内で県内最多の7種目の交流大会が行われ、県外から参加された多くの選手や、関係者の皆様に本市の魅力を存分に感じていただけたことと思います。

また、昨年は米子駅北広場の再整備に着手したほか、駅前通りの一部の区間の車道空間を活用した賑わい創出の実証実験、だんだんバス「歴史コース・まちなかコース」の本格運

# 新年のごあいさつ

行、弓浜地区における巡回バスの実証運行など、「歩いて楽しいまちづくり」の取り組みをさらに進めました。観光の面においても、皆生温泉では海岸遊歩道の街灯をリニューアルし、灯りによる魅力的な温泉情緒を創出したほか、米子城跡では三の丸番所のオープンや、安全で登りやすい登城路の整備が進むなど、来訪される方々を温かくお迎えする体制を整えてまいりました。

迎えました令和7年は、今後のまちづくりの方向性や将来像などを示

す「米子市まちづくりビジョン」を改定し、4月から新たなビジョンのもと、「住んで楽しいまち よなご」の実現に向け、さらに邁進してまいります。「米子からの地方創生」を成し遂げ、多くの人々に米子の豊かさを実感してもらえよう努力を重ねて参りますので、引き続き、市政へのご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、本年が皆様にとりまして実り多き年となりますようお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

めとする、全国各地での地震、台風や記録的な豪雨が相次ぎ、多くの被害に見舞われました。また、国際社会においては、ウクライナやガザ地区など、いまだ戦争状態にあり、政情不安定な状況が続いています。一方で、パリオリンピック・パラリンピックにおいては、米子市にゆかりのある選手達の出場とその活躍、県内初の内閣総理大臣が誕生するなど、喜ばしいニュースもありました。

このような中、本市を含む全国の自治体は、急速に進行する少子化への対応や各地で相次いだ災害への対応、さらには混沌とする国際情勢や物価高騰などによる地域経済への影響に直面しています。これらの諸課題にしっかりと向き合い、市民の皆様と協働しながら、地域における様々な課題を解決する必要があると考えています。

市議会においては、議会のDX化を含めた議会改革に継続して取り組んでおります。昨年は、タブレット端末によるペーパーレス会議を本格稼働するとともに、常任委員会、議

# 令和6年 市政主要ニュース

昨年を振り返り、米子市政に関する主要ニュースを10項目選びました。

## パリ2024 オリンピック・パラリンピックで米子市ゆかりの選手たちが活躍！

水泳飛込の三上紗也可選手、パラローイングの森卓也選手、パラ陸上競技の高橋峻也選手が、パリ五輪・パラリンピックに出場しました。選手たちの活躍をたたえ、米子市からはスポーツ栄光賞を授与しました。



## 水道局と下水道部が統合し「米子市上下水道局」に

上水道と下水道の事業を効率的に運用するため、「米子市水道局」と「米子市下水道部」を、「米子市上下水道局」として11月に組織統合しました。今後、さらなる上下水道事業の効率化に向けて取り組みます。

## 「米子城跡三の丸番所」オープン

米子城跡の便益施設「米子城跡三の丸番所」が、3月にオープンしました。休憩スペースやトイレ、城の歴史などを学ぶことができる設備を備えており、米子城観光がさらに便利になりました。



## 米子市伝統芸能の認定制度創設

米子市を拠点として50年以上継続している郷土芸能を、「米子市伝統芸能」として認定する制度を創設しました。創設にあたり、「米子がいな太鼓」と「米子歌舞伎」を伝統芸能として認定しました。



## 名水百選「天の真名井」水車が復活

淀江町高井谷に湧く名水「天の真名井」の水車が、老朽化による故障からクラウドファンディングの活用により、復活を果たしました。高井谷自治会が中心となって修復し、3月の完成お披露目会では地元住民と関係者が水車の完成を祝いました。



## 法勝寺川河川敷に「水辺の楽校」オープン

「水辺の楽校」が6月、法勝寺川河川敷にオープンしました。子どもたちが安全に水辺に親しめるよう、護岸や広場が整備されました。



## 皆生温泉海岸沿い遊歩道の街灯整備・全区間で点灯

皆生温泉で進められている街灯整備事業において、皆生海浜公園の西側の街灯が4月から点灯を開始しました。これで、皆生温泉の海岸沿いの遊歩道で計画されている街灯整備が完了し、夜の温泉街のさらなる魅力向上につながりました。



撮影：下村康典

## 歩いて楽しいまちづくり施策の推進

だんだんバス「歴史コース・まちなかコース」の本格運行やICOCAの導入など、バスの利用促進施策を推進したほか、11月には駅前通りで車道を活用した、にぎわい創出の実証実験を実施しました。市内各所で歩行空間の整備を進めるなど、「歩いて楽しいまちづくり」に向けて取り組みました。



## 米子インター周辺の工業・産業用地を「みのりパーク」に

米子インター周辺工業用地（赤井手、今在家）と米子インター西産業用地（赤井手）の名称を「米子インターみのりパーク」に変更しました。同地には、テーマパーク型の和洋菓子工場など、6つの事業所が集積します。

## 医療・生活統合アプリ

### 「新とりりんりん」運用開始

～医療分野で全国初のマイキープラットフォーム活用～  
マイナンバーカードを活用し、診察券を共通化・デジタル化して利用者の利便性向上や医療機関の業務効率化を図るアプリ「新とりりんりん」が運用を開始しました。今後、鳥取大学医学部附属病院をはじめとした市内の医療機関での活用が広がります。

**車** 社会の進展に伴い、失われた中心市街地のにぎわいを取り戻し、車に依存し過ぎない持続可能な暮らしを実現するため、世界中の都市で歩行者中心のまちづくりが進んでいます。米子市でも、誰もが暮らしやすい「歩いて楽しいまち」に向け、取り組みが加速しています。

**今** 回は、米子市が進める「歩いて楽しいまちづくり」について説明し、整備が進むまちの「今」をご紹介します。



もっとうれしいまちづくり！

## 駅前通り実証実験 YONAGO STREET WALK

駅前通りの車道の一部を活用し、飲食やワークショップが楽しめる屋台や、のんびりとくつろげる椅子やソファを置いたデッキと人工芝を設置し、居心地が良く歩きたくなる空間づくりの実証実験を、令和6年11月9日～10日に行いました。



# 歩くと、まちにいいこと、いろいろ

## 地域経済にいいね！



歩行者中心のまちになれば、飲食店が繁盛しやすく、まちの個性豊かな商店の魅力が輝きます。また、観光で訪れた人に、まちで食事や買い物も楽しんでもらえ、観光の収益化を図ることができます。

## 健康にいいね！



まちを歩くことが楽しくなれば、歩く機会が増えます。歩くことは最も基本的な運動であり、普段の生活の中で取り入れやすく、生活習慣病予防やフレイル予防、ストレス解消にも有効です。

## 公共交通にいいね！



歩行者が増えれば、バスなどの公共交通の利用者も増え、路線を維持することができます。免許を持っていない若者や、免許を返納した高齢者にとっても、暮らしやすいまちにすることができます。

# 歩いて楽しいまちを、公共交通でつなぐ

歩くことが楽しい、歩きやすいまちを作り、公共交通を使って中心市街地に出かけてもらうのが「歩いて楽しいまちづくり」の基本的な考えです。駅周辺や中心市街地、皆生温泉、米子城跡、米子港などのエリアを歩行者中心の空間として整備し、それぞれを公共交通機関で結びます。



### 歩いて楽しいまちづくり宣言

米子市のまちなかを、「車中心」から「公共交通と歩行者中心」へと転換することで、車がなくても暮らしやすいまちをめざすことを、「歩いて楽しいまちづくり宣言」として令和5年に表明しました。



## 歩いて楽しいまちづくり宣言

米子市では、まちなかを「車中心」から「公共交通と歩行者中心」の空間へと転換し、人々が集い、憩い、多様な活動を繰り広げられる場へ生まれ変わらせることを目指しています。これからの未来のため、車への過度な依存から脱却し、車がなくてもまちなかや郊外で生活できる誰もが暮らしやすいまちづくりを進めていきます。ここ米子に集う人々が「歩いて楽しい」を実感できる街の実現のため、市民、企業、行政が連携した「歩いて楽しいまちづくり」に取り組むことを宣言します。

令和5年7月22日  
伊木隆司



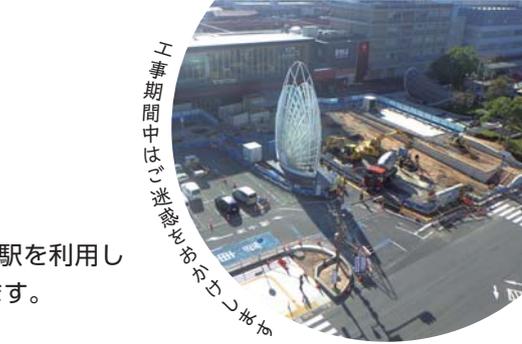
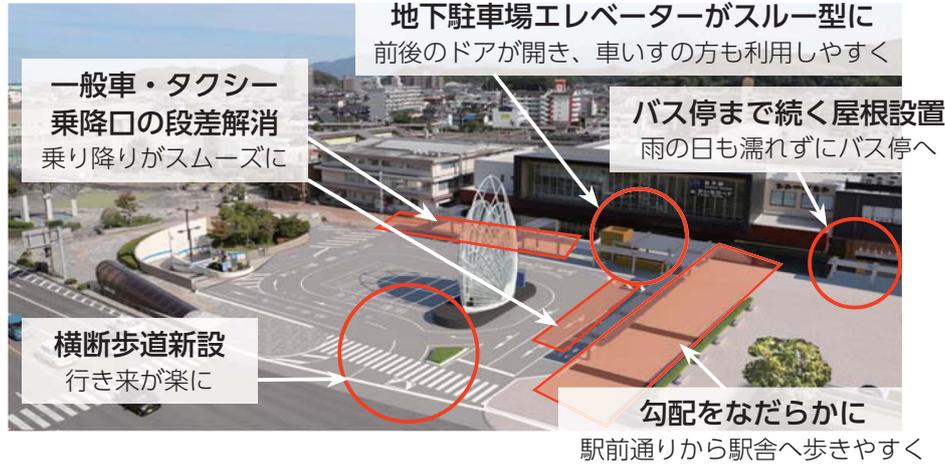
まちの玄関口で  
交通結節点！

## 駅北広場

歩いて楽しいまちづくりの中心地として、より米子駅を利用しやすいよう、バリアフリー化などの整備を進めています。

規制期間：1月14日(火)～2月14日(金)

期間中、米子駅北広場ロータリー内は「タクシー」と「一般車」の乗り入れができません。「地下駐車場」と「身障者乗降場」の利用者は、ロータリーを使用できます。



工事期間中は迷宮地帯かも

駅前にSLがやってくる！



湊山公園に野外展示している「D51形蒸気機関車」を、「だんだん広場」に移設します。(時期未定)  
「鉄道のまち・よなご」を、より楽しんでいただけるエリアになります。

# NEWS&TOPICS 歩く楽しさ進化中！

歩いて楽しいまちに向け、整備が進んでいます。既にリニューアルした通りや、これから工事が進むものまで、まちの「今」をチェック！

## 駅南エリア

令和5年オープン  
駅南広場



これまで駅北側にはなかった、平面駐車場、駐輪場、バスの駐車場を設けています。

「公園へ、まちへ“歩み”を繋げる」がコンセプト

令和7年工事開始予定  
目久美公園



米子高専の学生のデザイン案をベースに、地元住民だけでなく、駅の利用者も憩える空間として整備します。

新しい駅南側の玄関口！  
平面駐車場・駐輪場完備



今後、通称名を付けます

整備中(一部区間完了)

米子駅目久美町線

駅南口から東へ300mの区間、歩道の幅や段差解消など、歩行者中心の道路整備を進めます。「歩行者利便増進道路」(通称：ほこみち)に、鳥取県内第1号として指定しました。



令和9年5月オープン予定

## 米子アリーナ



約4,000人を収容できるメインアリーナを備えた、県内最大の体育館として整備します。防災拠点としても活用します。

米子駅目久美町線完了区間

整備前



整備後



みんなが集まる  
中心市街地へ！

## 角盤町周辺

本通り商店街 令和8年整備完了予定

老朽化していたアーケードが令和5年に撤去され、現在は下水道工事を実施しています。今後は路面の美装化を進めます。



パティオ広場 令和6年整備完了

元町通り商店街のパティオ広場に屋根や照明、電源が整備されました。天候に左右されず、イベントを開催できるようになりました。



朝日公園 令和6年整備完了

中心市街地における賑わい創出や、子どもたちの遊び場、地域の憩いの場として遊具やベンチ、トイレを整備しました。



エルモール一番街 令和7年整備完了予定

令和6年にアーケードが一新。天井にはLEDが付けられ、夜でも明るく歩きやすくなり、今後は路面の美装化を進めます。



約8万5千球の電飾が  
自在に色を変える  
天井を美しく彩る



令和6年整備完了

角盤町通り西線

路面の美装化などを行い、歩行環境を整備しました。



ひまわり駐車場の東側の通り 令和6年整備完了

歩道の拡幅やバリアフリー化（誘導ブロックの設置）を行い、歩行者優先の空間として路面の整備を行いました。



## バスももっと便利に！

歩いて楽しいそれぞれのエリアをつなぐ主な公共交通機関がバス！市内循環バス「だんだんバス」がICOCAで支払えるようになりました。路線バスとだんだんバス、どんぐりコロコロバスの無料乗車日も設定するなど、バスの利用促進も進めています。

次の無料乗車日は  
2月8日(土)！



## 皆生温泉

皆生温泉の海岸沿い遊歩道の街灯整備が全区間で完了し、夜の景観がより魅力的に。今後は東屋の改修や緑地整備を進め、憩える空間をめざします。



撮影：下村康典

## 米子城跡

米子城跡の便益施設「米子城跡三の丸番所」が令和6年にオープン。湊山公園からの登城路も開通しました。今後も史跡として整備を進めます。



三の丸番所

登城路

歩いて楽しいまちに向け  
これからも進化を続けます！